

図書館だより

4月・5月は年度始まりということもあり、多くの新一年生の利用が目にとまりました。新入生のみなさんの図書館利用が習慣化されればと思います。




修学旅行に関連する本

高校2年生は、あと1か月で修学旅行です。中学2年生はもう少し先ですが、修学旅行に行く前に、また行った後でも、旅先の文化や歴史を知ると、より意義深い旅となります。図書館の蔵書から紹介しますので是非手に取ってみてください。


沖縄いろいろ事典 (新潮社)
ナイチャーズ 編集、垂見 健吾

綺麗な写真が印象的。ヤマトとは違う、固有の文化と風土を持つ沖縄。歴史から食べ物まで、沖縄に惚れた50人が書いた、手軽で奥の深い沖縄入門書です。




ガマ 遺品たちが物語る沖縄線
(講談社) 豊田 正義 著

NHKラジオ深夜便で取り上げられた感動の一冊。ノンフィクションの手法で徹底取材したリアリティを、物語=フィクションの形で描きあげています。



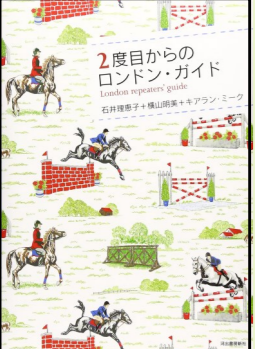
街物語 イギリス
(JTBE印刷) 黒澤明夫 編集

カラー写真満載で、イギリスを大いに楽しめます。イギリスの通史が簡潔に、わかりやすく、かつ面白く解説されています。




2度目からのロンドン・ガイド
(河出書房) 石井理恵子他 著

読んでいると、ロンドンに行きたくなります。「2度目から」とありますが、まるで、ロンドンで「暮らす」ような旅の本。




アイヌ学入門 (講談社現代新書) 瀬川 拓郎 著

交易するアイヌ、海の民アイヌという視点が新鮮。ヤマト政権中心の流れとは異なる、もうひとつの日本史。アイヌの歴史と文化を多角的視点から解説しています。




修学旅行ガイド (学研財) 日本修学旅行協会 監修

ずばり、修学旅行ガイド!



現代カナダを知るための57章 (明石書店) 飯野正子、竹中豊 編集

「現代」に比重をおき、ポップ・カルチャーや社会現象も取り上げています。一方で、歴史、政治、経済、文化とカナダの概要を手っ取り早く知るには便利で良い本。



体験取材!世界の国ぐにカナダ (ポプラ社) 渡辺一夫 文・写真

広大な国土に、英語・仏語の言語をかかえる国。それぞれの文化圏で明るく生きる人びとを取材しています。



合格体験記 (第2弾)

図書館を利用して頑張った先輩たちです。皆さんも自習の場として図書館を活用して下さい!

神戸大学海事科学部 **合格** 大嶋英生君

集約I類 (豊中市立第十一中学校 出身)

同志社大学理学部、立命館大学理工学部・電気電子工学部、合格!

履正社に入学してから3年間、「勉強ばかりで、とにかく忙しかった。」の一言に尽きます。その中で、年度を重ねるにつれ、いかにして勉強の質を上げていくべきかが、課題でした。

図書館のキャレルでの自習は、とても効率的でした。他の場所と異なり、落ち着いた静かな環境なので、自分一人の空間を作るのに最適で、勉強がはかどりました。自分の世界で自分のペースでできたのがよかったのだと思います。また、館内には、大学入試用の赤本や大学での勉強に関する本があり、それらを利用できたことも、メリットでした。図書館では、無駄のない時間を過ごせたと思います。



山口大学人文学部 **合格** 井上恵莉菜さん

6力年特進 (川西市立東谷小学校 出身)

日本大学文理学部、帝京大学文学部、東海大学文学部 **合格!**

図書館を利用するきっかけは、中学の頃、担任の先生に利用するようにと指示されたことです。数学が全然できなくて、家で宿題をしても、ほぼ空欄だったからです。わからないところは、すぐ職員室に行って質問して、その疑問が解決できるので、図書館は魅力的な場所だと実感し、それから、図書館の愛用者になりました。

高校生となり、次にぶつかった壁は、英語の長文でした。中学の頃の長文とは桁違いの複雑で難解な英語文。家で読もうとすると、一段落読んでは休憩の繰り返し。とてつもなく時間がかかりました。そこで実行したのが、「昼休み長文作戦」です。約30分と制限された中で一つの長文を読み、解き終わるようにすると決めることで、集中してきびきびと長文を読むことができるようになりました。みなさんも、上手く図書館を利用し、合格を勝ち取ってほしいと思います。

各賞コンクール案内 様々な案内が来ています。

一問い合わせは図書館 係まで一

第62回青少年読書感想文全国コンクール (主催 全国学校図書館協議会・毎日新聞社)

- 応募部門: 中学校の部、高等学校の部 など
内容: 自由読書・課題読書(下記参考)、400字詰め4~5枚
締切: 2016年9月30日(金)
- 中学の部 ①『白いイルカの浜辺』ジル・ルイス 作
②『ABC! 曙第二中学校放送部』市川 朔久子 著
③『生きる: 劉連仁の物語』森越 智子 作
- 高校の部 ①『タスキメシ』額賀 濤 著
②『ハーレムの闘う本屋: ルイス・ミショーの生涯』ヴォーンダ・ミショー・ネルソン著
③『シンドラに救われた少年』レオン・レイソン著

第14回 青春俳句大賞 (龍谷大学)

- 応募部門: 中学生部門、高校生部門、英語部門
思い出の修学旅行部門 など
内容: 自由 締切: 2016年9月30日(金)

第8回 読書感想文コンクール (明治大学文学部)

- 応募資格: 高校生および社会人
内容: 課題図書、1200字以内 締切: 2016年8月5日
課題図書: ①『大人になることのむずかしさ』河合隼雄 著
②『家族という病』下重暁子 著
③『荒野のおおかみ』ヘルマン・ヘッセ 著
④『コルチャック先生』近藤二郎 著
⑤『失敗学のすすめ』畑村洋太郎 著
⑥『セールスマンの死』アーサー・ミラー 著
⑦『となり町戦争』三崎亜紀 著
⑧『博士の愛した数式』小川洋子 著
⑨『八十日間世界一周』ジュール・ヴェルヌ 著
⑩『武器よさらば』アーネスト・ヘミングウェイ 著



第14回 短歌コンクール (同志社大学)

- 応募資格: 高校生
内容: 自由 締切: 2016年10月31日(月)

